

xyz 空間において、原点を通り、ベクトル $\vec{m} = (-6, 2, 5)$ に平行な直線 l があり、また、点 A(-10, 0, 14), B(8, -1, -3) がある。次の問い合わせよ。

- (1) 点 A から直線 l に垂線をおろし l との交点を C, 同様に点 B から直線 l に垂線をおろし l との交点を D とする。C と D の座標を求めよ。また、ベクトルの大きさ $|\vec{AC}|$ と $|\vec{BD}|$ を求めよ。
- (2) 4 点 A, B, C, D は同一平面上にないことを示せ。
- (3) l 上に動点 P があるとき、線分の長さの和 AP + BP の最小値と、そのときの点 P の座標を求めよ。

(25 大阪医薬大 医 2)

【答】

- (1) C(-12, 4, 10), D(6, -2, -5), $|\vec{AC}| = 6$, $|\vec{BD}| = 3$
- (2) 略
- (3) P(0, 0, 0) のとき、最小値 $3\sqrt{74}$

【解答】

$$l : (x, y, z) = \vec{tm} = t(-6, 2, 5) \quad (t \text{ は実数})$$

(1) C は点 A(-10, 0, 14) から直線 l におろした垂線の足であるから

$$\vec{AC} \perp \vec{m}$$

である。点 C となる t の値を t_C とおくと

$$\vec{AC} \cdot \vec{m} = 0$$

$$\{t_C(-6, 2, 5) - (-10, 0, 14)\} \cdot (-6, 2, 5) = 0$$

$$t_C(36 + 4 + 25) - (60 + 0 + 70) = 0$$

$$t_C = \frac{130}{65} = 2$$

$$\therefore \vec{OC} = 2(-6, 2, 5) = (-12, 4, 10)$$

であり、C の座標は

$$C(-12, 4, 10) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。また、D は点 B(8, -1, -3) から直線 l におろした垂線の足であるから

$$\vec{BD} \perp \vec{m}$$

である。点 D となる t の値を t_D とおくと

$$\vec{BD} \cdot \vec{m} = 0$$

$$\{t_D(-6, 2, 5) - (8, -1, -3)\} \cdot (-6, 2, 5) = 0$$

$$t_D(36 + 4 + 25) - (-48 - 2 - 15) = 0$$

$$t_D = -\frac{65}{65} = -1$$

$$\therefore \vec{OD} = -(-6, 2, 5) = (6, -2, -5)$$

であり、D の座標は

$$D(6, -2, -5) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。したがって

$$\overrightarrow{AC} = (-12, 4, 10) - (-10, 0, 14) = (-2, 4, -4)$$

$$\overrightarrow{BD} = (6, -2, -5) - (8, -1, -3) = (-2, -1, -2)$$

であり、それぞれの大きさは

$$|\overrightarrow{AC}| = \sqrt{4 + 16 + 16} = 6, \quad \dots\dots(\text{答})$$

$$|\overrightarrow{BD}| = \sqrt{4 + 1 + 4} = 3 \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(2) 4点 A, B, C, D は同一平面上にないことを背理法を用いて示す。

4点 A, B, C, D は同一平面上にあると仮定する。 $\overrightarrow{AB} = (18, -1, -17)$, $\overrightarrow{AC} = (-2, 4, -4)$ はどちらも $\vec{0}$ でなく、平行でないから、 $\overrightarrow{AD} = (16, -2, -19)$ は実数 α, β を用いて

$$\overrightarrow{AD} = \alpha \overrightarrow{AB} + \beta \overrightarrow{AC} \quad \dots\dots(*)$$

と表すことができる。

$$(16, -2, -19) = \alpha(18, -1, -17) + \beta(-2, 4, -4)$$

$$\begin{cases} 16 = 18\alpha - 2\beta & \dots\dots \textcircled{1} \\ -2 = -\alpha + 4\beta & \dots\dots \textcircled{2} \\ -19 = -17\alpha - 4\beta & \dots\dots \textcircled{3} \end{cases}$$

①, ②より、 $\alpha = \frac{6}{7}$, $\beta = -\frac{2}{7}$ となるが、これは③を満たさないから、(*)を満たす α, β は存在することに反する。

よって、4点 A, B, C, D は同一平面上にない。 $\dots\dots(\text{証明終わり})$

(3) (2)より A は B と l を含む平面 BCD 上にない。A を l を軸として回転させたときの 2 交点のうち、l に関して B と反対側にある交点を A' とおき、直線 A'B と l の交点を P₀ とおく。このとき、l 上に動点 P について

$$AP + BP = A'P + BP \geq A'P_0 + BP_0 = A'B$$

が成り立つ。等号が成り立つの P = P₀ のときである。このとき

$$\triangle A'CP_0 \sim \triangle BDP_0$$

であり、相似比は

$$A'C : BD = 6 : 3 = 2 : 1$$

であるから、P₀ は線分 CD を 2 : 1 に内分する点である。

$$\overrightarrow{OP_0} = \frac{\overrightarrow{OC} + 2\overrightarrow{OD}}{3} = \vec{0} \quad (\because \overrightarrow{OC} = -2\overrightarrow{OD})$$

であり、P₀ は原点 O である。

$$A'B = 3P_0B = 3OB = 3\sqrt{64 + 1 + 9} = 3\sqrt{74}$$

である。よって、AP + BP は

$$P(0, 0, 0) のとき、最小値 3\sqrt{74} \quad \dots\dots(\text{答})$$

をとる。